

サンゴ保全等に向けた赤土等流出防止対策 in 大宜味村
～グリーンベルト植栽活動&馬との触れ合いをとおして自然環境を考える～

1 目的

サンゴ等海洋生物への影響が懸念される沖縄特有の陸域からの赤土等流出に関して、防止対策活動等を地域と協働で取り組むことにより、海洋生物多様性の維持促進及び普及啓蒙に寄与することを目的とします。

2 活動内容

(1)赤土等流出防止対策活動（少雨決行）

- ①グリーンベルト植栽活動（大宜味村 みちくさ牧場馬場周辺）
- ②カバークロープ対策活動（大宜味村 みちくさ牧場放牧場内）

(2)環境学習

- ①馬との触れ合いをとおして自然環境を考える講座

3 活動日時

(1)活動日時：2019年10月19日（土） 8:30～16:30

(2)集合場所及び時間：以下のとおり

①那覇国際高校生徒：高校正門に8:05集合

②沖縄県地球温暖化防止活動推進員等：沖縄自動車道那覇IC入口隣り駐車場8:30集合

※②はエネオス給油所向かいです。

(3)活動場所：大宜味村白浜地区 みちくさ牧場

(4)準備物：帽子・水筒等の熱中症対策もしくは雨合羽等の少雨対策 ※弁当の提供有り

(5)作業当日行程：以下のとおり

時 間	所要 時間	活 動 内 容 等	場 所
8:20 8:30	100分	■那覇地域等ボランティア参加者集合（那覇） ■那覇出発（レンタカーで移動）	・那覇国際高校
10:00		■大宜味村地域ボランティア参加者と合流	・みちくさ牧場
10:10	20分	■作業日程等の説明 ■赤土等流出防止対策に係るミニ講座	//
10:30	60分	■グリーンベルト植栽活動の実施	//
11:30	10分	■グリーンベルト植栽活動の終了	//
【休憩・昼食】			
13:00	90分	■馬との触れ合いを通して自然環境を考える講座	//
14:30	10分	■対策等活動終了・記念撮影等	//
14:40		■大宜味村地域ボランティア参加者等解散 ■那覇地域ボランティア参加者帰路	
16:30		■那覇到着（那覇地域ボランティア参加者解散）	

3 対策活動及び環境学習の内容

(1) 対策及び環境学習実施場所

- ・大宜味村字白浜地区 みちくさ牧場馬場周辺及び放牧場

(2) 赤土等流出防止対策活動

① グリーンベルト植栽活動

- ・流出が懸念させるみちくさ牧場馬場の周りに「ベチバー」というイネ科の植物を植栽し、流出防止対策を行います。

ア) 植栽距離：約 100m

イ) 植栽本数：500 本（20 cmピッチ）

ウ) 対策効果：約 59%（県農業研究センター試験による）

エ) ベチバーの選定理由：以下のとおり

- ・種ができず、株でしか増えないため、雑草化の懸念がない
- ・管理が容易く、根が土壌を掴むため保全に適している
- ・生長が早く、効果が早く出やすい
- ・最近ではグリーンベルト草本として、公共事業も含め対策実績が多い



ベチバーによるグリーンベルトのイメージ

カ) グリーンベルト植栽活動のイメージ



② カバークロップ対策

- ・赤土等流出が懸念されるみちくさ牧場放牧場にクリームゾンクローバーの種を撒き、むき出しの赤土等をクリームゾンクローバーが覆うことで、流出防止対策を行います。

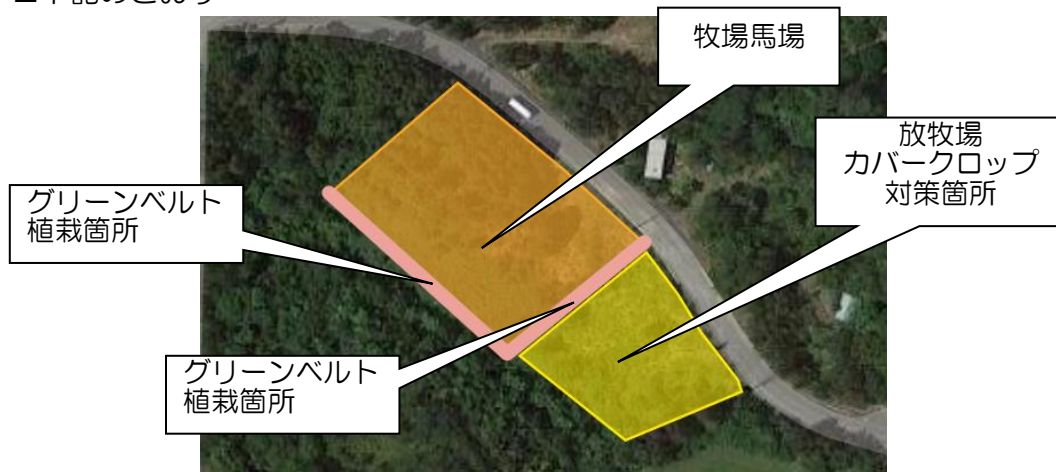
ア) 対策面積：約 13.6a

- イ) カバークロップ種類及び播種量：クリムゾンクローバー 約 3 kg (約 3 kg/10a)
- ロ) 対策効果：裸地の被覆による防止効果約 64%
- リ) クリムゾンクローバーのイメージ：以下のとおり



4 対策場所の概要

■ 下記のとおり



グリーンベルト
植栽箇所



馬場の状況

本活動は、おきなわアジェンダ21 県民会議「提案公募型普及啓発事業」として実施します。